

# 善通寺市新庁舎建設基本設計（案）

平成31年2月 善通寺市





北から俯瞰した外観のイメージ



北から見た外観のイメージ



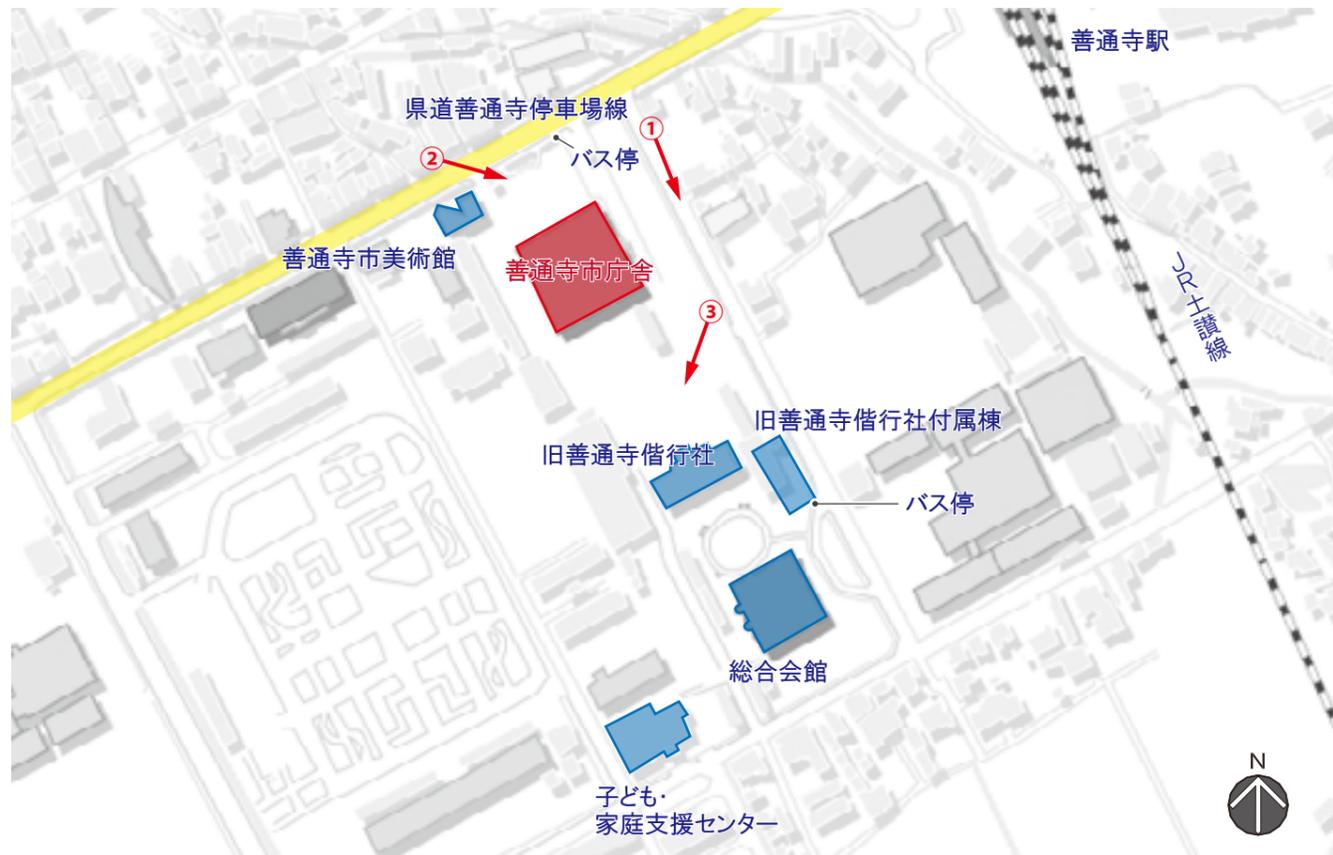
旧善通寺偕行社芝生庭園から見たイメージ



築山庭園から見たイメージ

■計画地周辺環境

- 計画地は四方を道路に囲まれており、北側に面する県道普通寺停車場線が最も幅員が広く、来庁者の主要なアクセス経路となっています。また、北側及び東側道路は市民バスの路線となっており、バス停が設置されています。敷地周辺にはJR普通寺駅をはじめ、旧普通寺偕行社、普通寺市美術館、普通寺市総合会館、子ども・家庭支援センター等、文化・行政施設が集まっています。



計画地周辺配置図  
(C)2017ZENRIN (Z08E-765)



①計画地東側道路の桜並木



②計画地北側県道と現普通寺市庁舎



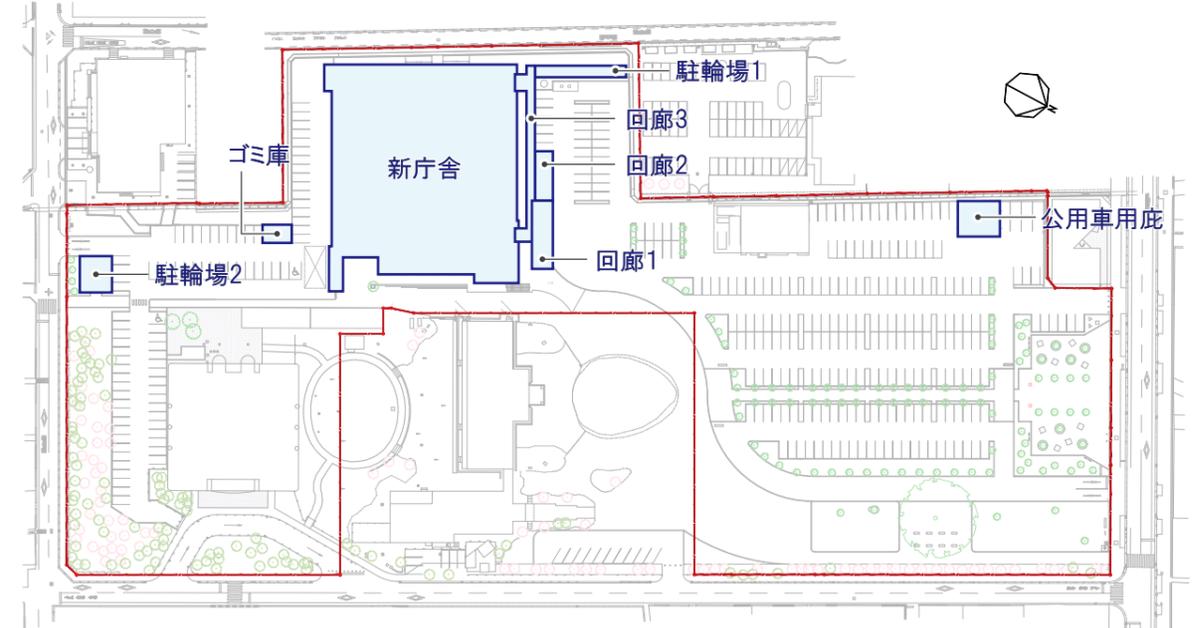
③旧普通寺偕行社

■敷地概要

建設地：普通寺市文京町二丁目1番1号ほか  
 区域指定：都市計画区域  
 用途地域：近隣商業地域(予定)  
 防火地域：建築基準法22条・23条地域  
 道路斜線：斜線勾配：1.5 適用距離：20m  
 隣地斜線：斜線勾配：2.5 立ち上がり：31m

敷地面積：28,505.78㎡  
 許容建ぺい率：80%(予定)  
 許容容積率：200%(予定)  
 接続道路：北側：県道普通寺停車場線 (18m)  
 (幅員) 西側：市道普通寺郵便局東側線(4.6m)  
 南側：市道文京1号線 (8.5m)  
 東側：市道一高西側線 (8.5m)

■計画図



計画図 S=1/2000

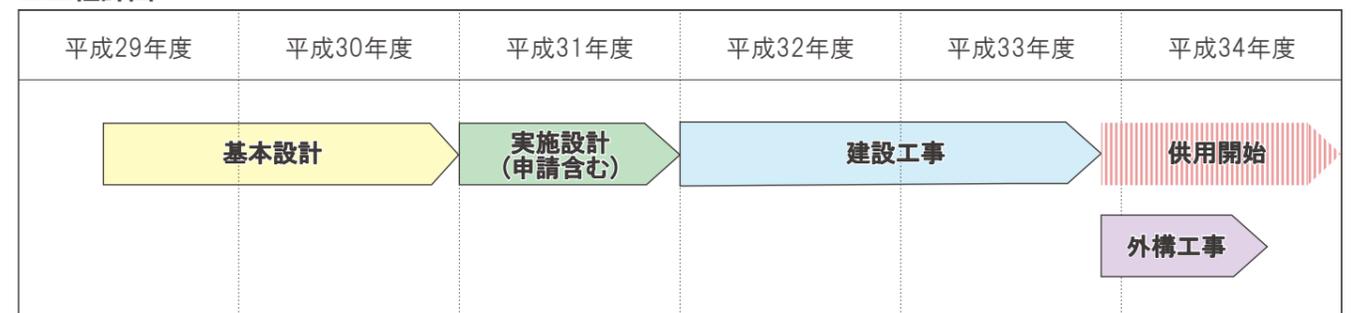
■建築概要

【用途】 市役所・図書館  
 【構造種別】 鉄骨造・耐震構造  
 【建築面積】 2,956.50㎡  
 【延床面積】 9,953.24㎡  
 【階数】 地上4階  
 【建物高さ】 21.25m

■駐車場・駐輪場概要

【駐車台数】 433台  
 (おもいやり駐車場4台分を含む)  
 【駐輪台数】 90台

■工程計画



## ■基本理念

### 「まち・ひと・歴史をつなぐ公園庁舎」

・旧善通寺偕行社が建つ緑の豊富な広い敷地を活かし、敷地全体を公園として計画します。旧善通寺偕行社・カフェ・広場といった人が集うポテンシャルを持った既存施設に隣接して建つ新庁舎・新図書館は公園の一部となり、旧善通寺偕行社一帯との相乗効果により、新たなにぎわいをもたらします。日常・非日常にわたり、あらゆる人々に使いこなされる庁舎・図書館・公園をつくることにより、敷地全体の価値を向上させる計画を目指します。

## ■建築計画

### □市民に開かれた、誰もが使いやすい施設

- ・市民の利用頻度が高い窓口機能を1階に集約し、市民の利便性に配慮した計画とします。
- ・庁舎へのアプローチは歩車分離を徹底し、安全で分かりやすい計画とするとともに、ユニバーサルデザインを徹底します。

### □市民を守る防災拠点としての施設

- ・耐震構造を採用し、防災中核拠点としての建物安全性、業務継続性を確保します。
- ・整形で分かりやすい平面とすることで、災害時の避難動線にも配慮します。

### □環境に最大限配慮した低炭素型の施設

- ・善通寺市の環境特性を活かした環境負荷低減を図ります。
- ・高効率機器の導入により、省資源・省エネルギー・長寿命化を目指します。
- ・地域産木材を活用し、温かみのある、親しみやすい内装計画を検討します。

### □財政負担の軽減を図り、長期間有効に使い続けられる施設

- ・低層かつシンプルで、バランスのよい整形な建物形状とすることで、維持管理のしやすい庁舎とします。
- ・執務レイアウトは、将来の組織改編等にも柔軟に対応可能なユニバーサルレイアウトとして計画します。

### □本と出会い、人がつながり、夢をはぐくむ図書館

- ・「多様な情報に出会う」「文化活動・交流の場」「語らい・触れあいの場」「“知る楽しさ”を体感する場」「好奇心をはぐくむ場」という5つの新図書館の基本理念に則り、本をきっかけに、人が集い、学び合い、つながりが生まれる公共施設として機能する図書館を目指します。

## ■構造計画

- ・新庁舎は災害時の対策拠点施設となるため、大地震時にも災害対策業務が継続できる構造計画とします。
- ・「官庁施設の総合耐震計画基準」による耐震安全性の分類  
構造体：I類 建築非構造部材：A類 建築設備：甲類
- ・架構形式はフレキシブルな内部空間を確保するため、X・Y方向ともに純ラーメン構造とします。
- ・構造種別は、材料の強度及び靱性が高く、ロングスパンに適した鉄骨造とします。
- ・本敷地は地盤が良く、基礎構造としては杭を用いない直接基礎を採用します。

## ■設備計画

- ・地域の自然環境、気候風土の特性を考慮し、周辺環境と調和を図るとともに、環境負荷低減及び周辺環境の保全に配慮した計画とします。
- ・地震等の災害に対して安全であるとともに、災害対策拠点施設として必要な性能を確保します。非常用発電機等のバックアップシステムにより設備機能を継続できる計画とします。
- ・高効率機器の導入により、省資源・省エネルギー・長寿命化を実現します。
- ・自然採光、自然通風などによる積極的な自然エネルギーの利活用に努めます。
- ・豊富な井水を雑用水として利用し、省資源化を図ります。



周辺環境となじむようなボリューム構成

■新庁舎

- 新庁舎は敷地の南西側に4階建ての東西軸配置とします。
- 新図書館は新庁舎2階に配置し、「本と出会い、人がつながり、夢をはぐむ図書館」の実現を目指します。
- 建物東側を低層化し、旧善通寺偕行社とのボリュームの連続性を創出します。
- 上層階は極力西側へセットバックさせ、旧善通寺偕行社への圧迫感を軽減します。

■外構計画

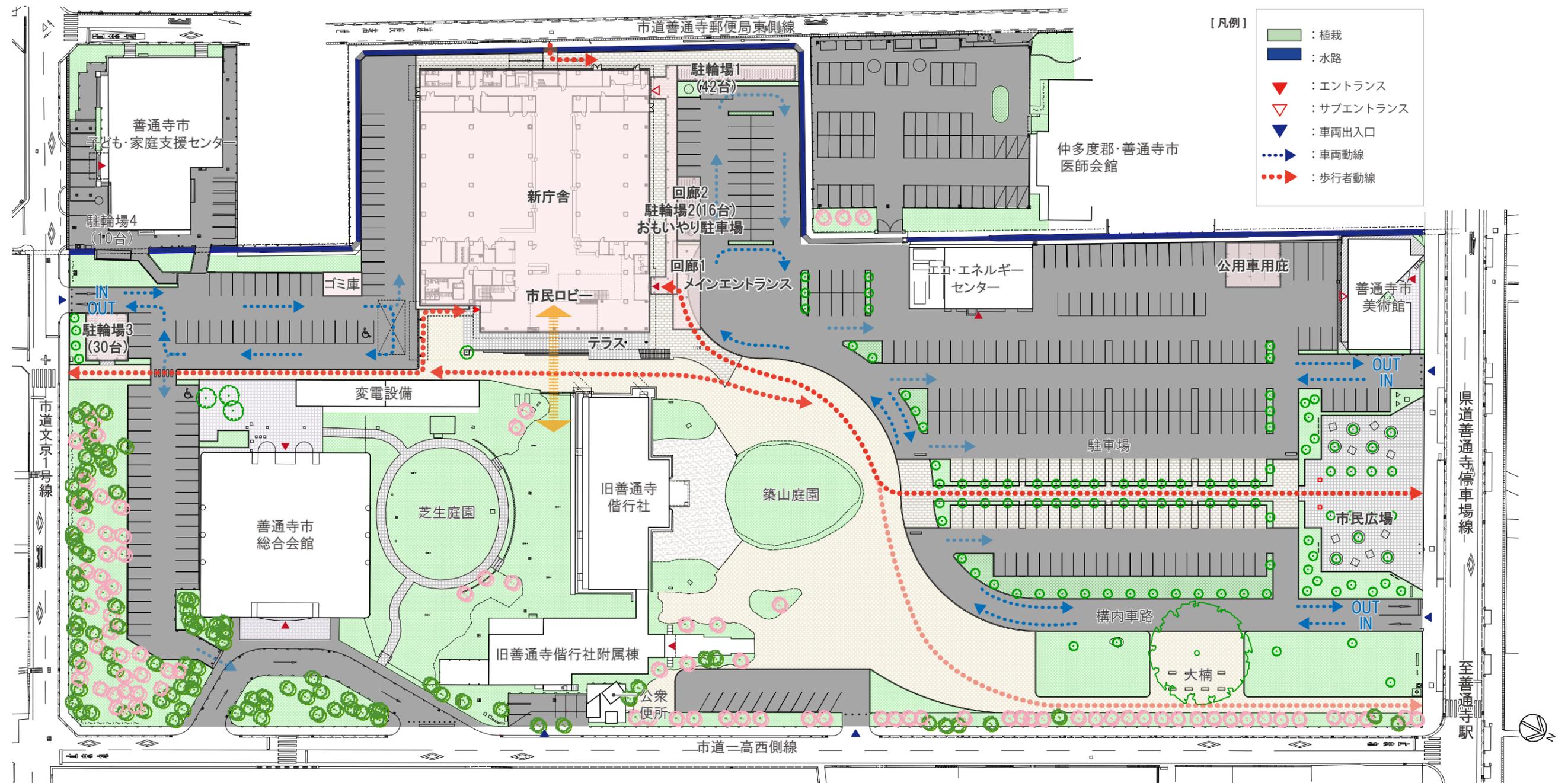
- 植栽は管理しやすい常緑樹を基本とし、生育環境に配慮した樹種選定を行います。
- 敷地内に存する大楠や桜などの自然を出来る限り保全・活用し、敷地内緑化を推進します。
- 敷地北側に市民広場を配置し、旧善通寺偕行社を活かした本市の新たなシンボルとなるような顔づくりを行うとともに、市民が集い、語らい、憩う場としての空間創出を図ります。

■駐車場・駐輪場

- 駐車場は一般・公用車合わせて433台分を平面駐車にて確保します。
- 建物北側メインエントランス近くにおもいやり駐車場を設けます。
- 敷地内に90台の駐輪場を設けます。

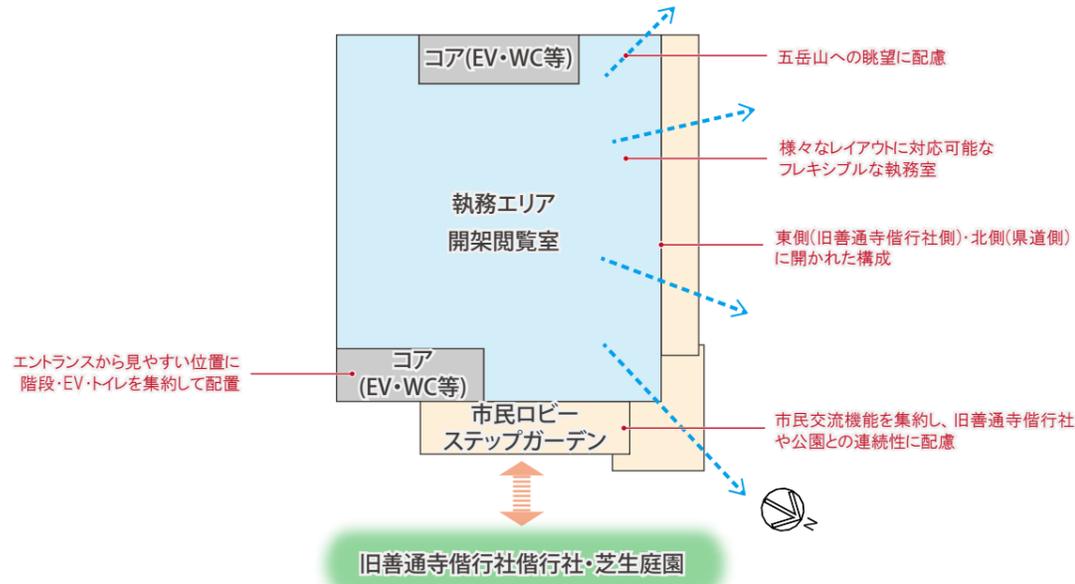
■動線計画

- 敷地内での歩車分離を徹底し、新庁舎を中心に歩行者ゾーンと車両ゾーンを明確に区分した安全で機能的な計画とします。
- 歩行者動線は南北に敷地を通り抜けられる計画とし、周辺施設をつなぐ新たな遊歩道を創出し、地域の回遊性を高めます。
- 建物北側のおもいやり駐車場からのアプローチや車寄せ部分には庇を設け、雨に濡れずにアクセス可能な計画とします。



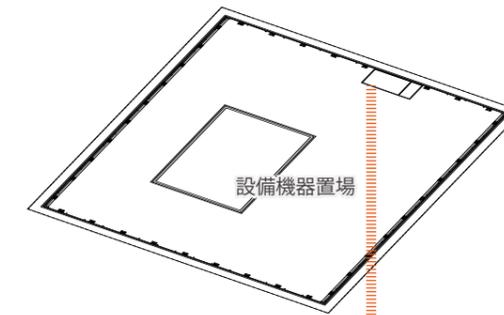
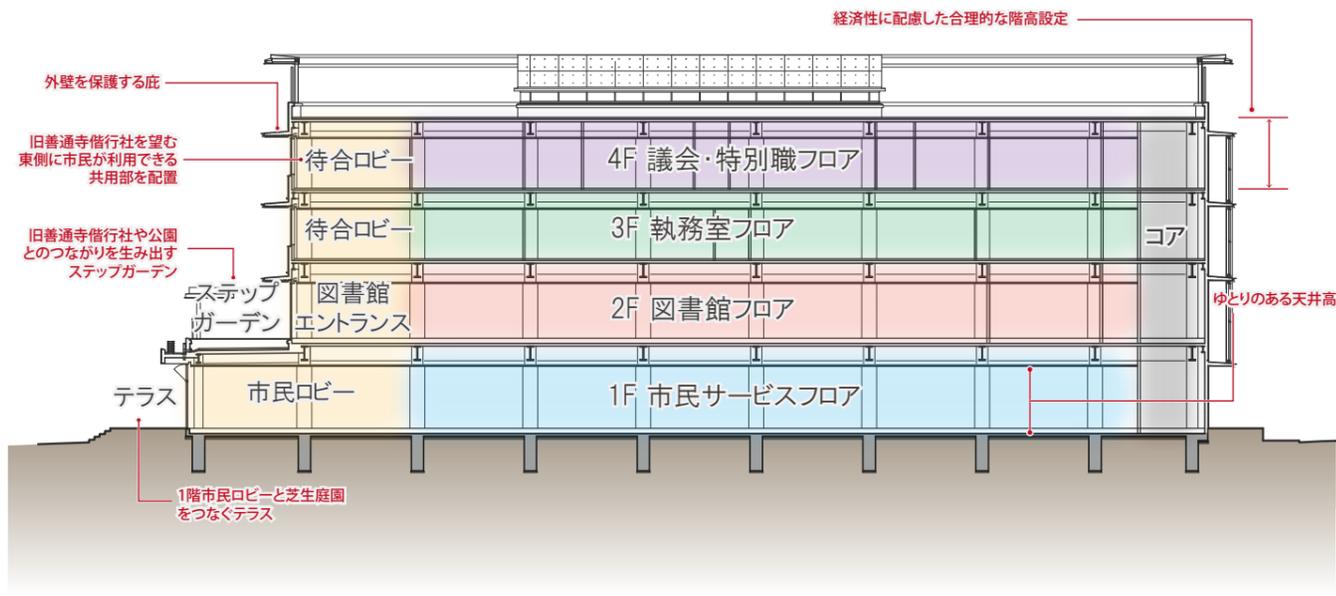
■平面計画

- ・機能や業務上の連携がある部署を可能な限り同一階に近接して配置し、階ごとに明確にゾーニングされた構成とします。
- ・ユニバーサルデザインを導入し、誰もが安心して利用できる庁舎とします。
- ・執務スペースはオープンな空間とし、組織改編等、将来の変更に柔軟に対応できるレイアウトとします。

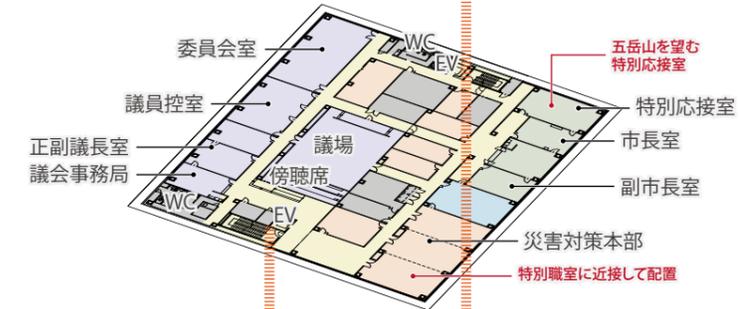


■断面計画

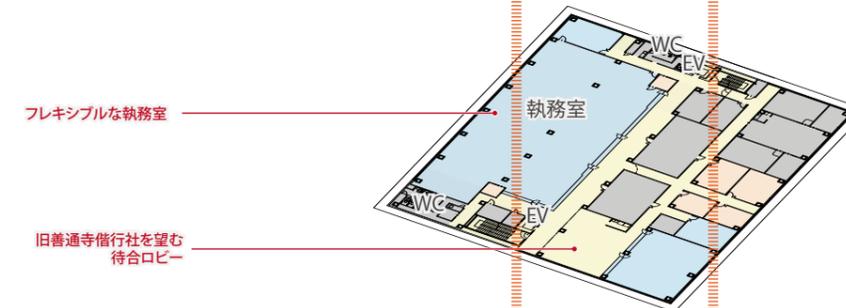
- ・上層階は西側へセットバックしさせ、旧普通寺偕行社への圧迫感を軽減します。
- ・市民ロビーや待合ロビー等の共用部を建物東側に配置し、建物内から旧普通寺偕行社を望める計画とします。
- ・1階市民サービスフロア、2階図書館フロア、3階執務フロア、4階議会・特別職室フロアとし、階機能の独立性を持たせ、来庁者に分かりやすくするとともに、セキュリティを高める計画とします。
- ・市民の利用頻度が高い窓口機能を1階に集約し、来庁者にやさしく、分かりやすいフロア構成とします。



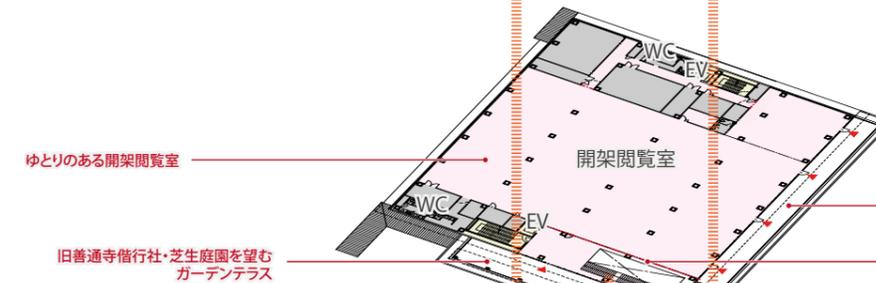
屋上



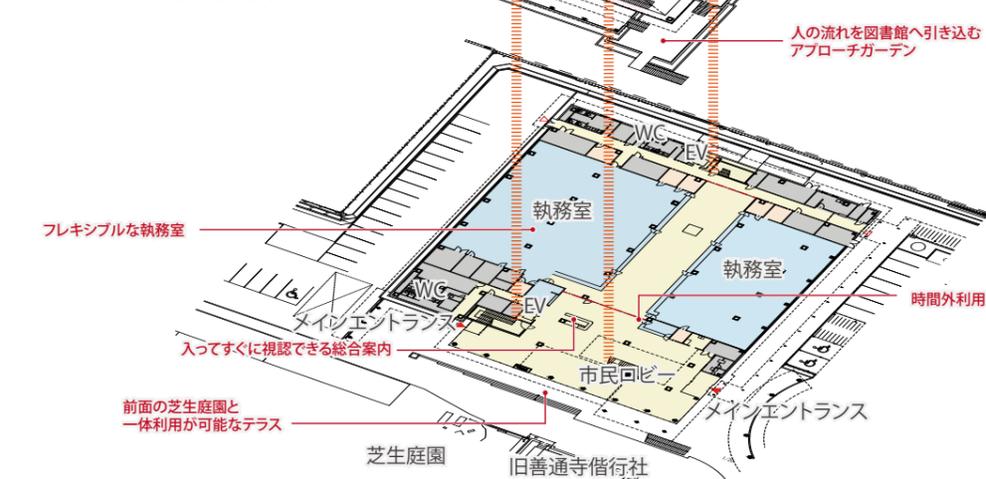
4F  
議会・特別職室フロア



3F  
執務室フロア



2F  
図書館フロア



1F  
市民サービスフロア

- 凡例
- : 共用エリア
  - : 窓口・一般事務室
  - : 特別職室
  - : 会議室・相談室
  - : 議会関連諸室
  - : 図書館
  - : WC・倉庫・設備室・その他
  - ||| : 縦動線

■大災害時にも直ちに災害対策拠点施設として機能する計画とします。

□構造計画

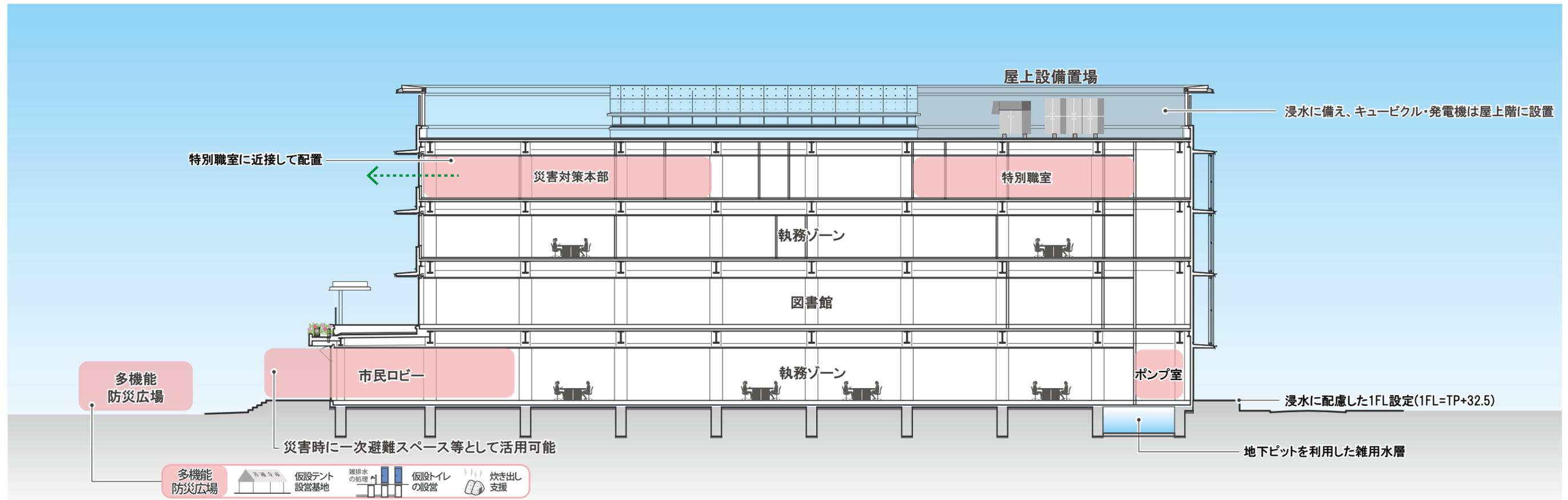
- 新庁舎の構造体は耐震安全性の分類を「官庁施設の総合耐震計画基準（統一基準）」の規定によるⅠ類とし、大地震動後、構造体の大きな補修をすることなく建築物を使用することを目標とします。人命の安全確保に加えて、十分な機能確保が図られる計画とします。
- 重要度係数I=1.5の耐震構造を採用します。

□設備計画

- 大地震後の人命の安全確保及び二次災害の防止が図られているとともに、大きな補修をすることなく、必要な機能を相当期間継続することができる設備計画とします。
- 停電時のバックアップ電源として、非常用発電機（72時間対応）を設置します。
- 災害時4日分の水量を確保することができる上水受水槽、雑用水受水槽を設置します。また、災害時対応として7日分の災害時排水槽を設置します。

□防災中枢拠点としての機能に優れた庁舎

- 災害対策本部を特別職室に近接して配置し、迅速な指揮系統を確立します。
- 1階床レベルは周辺地盤から極力高く設定するとともに、最上階に設備機械スペース、電気室、発電機室を配置し、水害による機能停止を防ぎます。
- 駐車場を災害時に防災広場として活用する等、敷地全体を活用した防災中枢拠点として計画します。



防災対策イメージ断面図

■善通寺市の気候特性に配慮し、実効性の高い環境配慮計画を行います。

(1) 風環境

□自然換気

- 卓越風等を利用した自然通風・換気を確保する計画とします。

(2) 温熱環境

□外気カット制御

- ウォーミングアップ運転時に行い、外気熱負荷を低減します。

□室内排熱利用

- 全熱交換機により室内排熱回収を行い、熱負荷を低減します。

□空調機による外気冷房

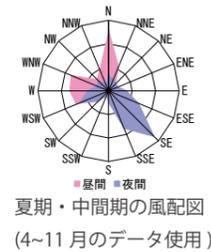
- 夏の夜間及び中間期等、外気温が低いときに熱源負荷を縮減します。

□換気機器による夜間外気利用

- 夜間の温度が低い外気を利用し、立上げ空調負荷を縮減します。

□効率的な空調システム

- 比較的天井の高い1階執務室、2階図書館開架閲覧室、4階議場には床吹出空調を採用し、居住空間の快適性を確保する計画とします。



(3) 光環境

□照明器具

- LED照明を採用し、適正照明制御・人感制御などにより照明負荷を低減します。

□日射遮蔽・複層ガラス

- 庇による日射遮蔽・複層ガラス等による断熱性能の向上により日射負荷を抑制します。

(4) その他環境配慮

□節水器具

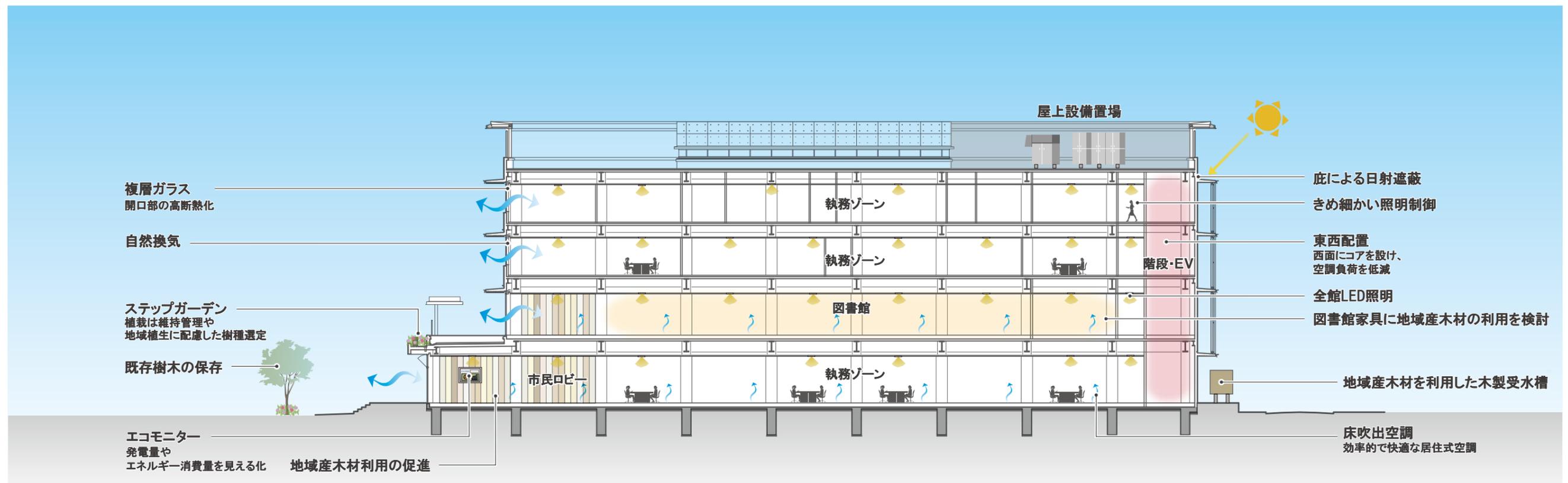
- 衛生器具や水栓を感知式もしくは節水型とし、上水量を縮減します。

□庇

- 外壁・サッシュ等の防汚性向上による建物を長寿命化し、外壁のメンテナンスバルコニーとしても利用可能な計画とします。

□地域産木材利用の促進

- 内装材、家具、サイン等の一部に地域産木材の使用を検討します。



環境計画イメージ断面図